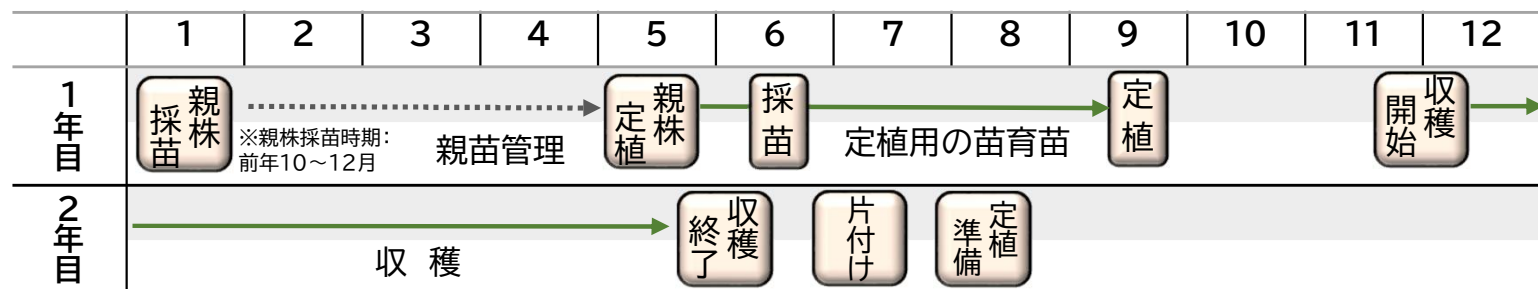


●豊後高田市のいちご経営の特長

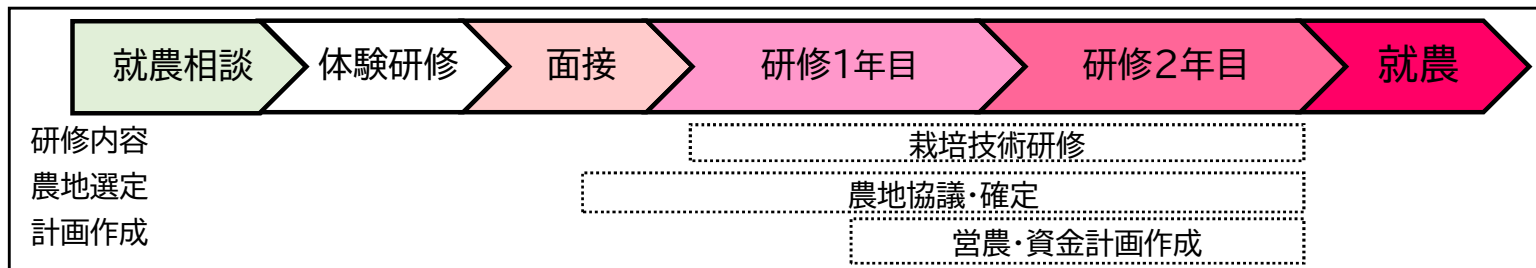
- ・豊後高田市は周防灘に面し、温暖で過ごしやすい瀬戸内式気候に属しています。
- ・豊後高田市では、加温機を備えたビニールハウスで促成栽培(11~6月出荷)を行っています。
- ・地面から1mほど上にベンチを設置する高設栽培が主流で、作業がしやすい環境です。
- ・豊後高田市は、大分県オリジナル品種「ベリーツ」等の品種を栽培しています。
- ・家族経営体や雇用型経営体などの様々な経営体系があります。
- ・部会では、若手を中心としたいちご研究部等の様々な活動があり、他の生産者のハウス見学や技術情報の交換を行っています。
- ・栽培上の課題を一つずつ解決しながら、部会員とともに技術の向上を目指す事が出来ます。



●いちご栽培の流れ



●就農までの流れ



●経営目標

就農5年目の経営目標	就農10年目の経営目標
品目・規模・収量(単収/10a)	品目・規模・収量(単収/10a)
いちご 15a 7.5t (5t/10a)	いちご 25a 15t (6t/10a)
販売額・所得	販売額・所得
販売額 1,027万円 所得(新設)280万円 (中古)341万	販売額 2,055万円 所得(新設)770万円 (中古)839万
従事者	従事者
家族 2人	家族 2人、雇用 2人

・規模拡大
・単収増

※減価償却費は所得に含む

※経営目標はあくまでも目標であり、保証するものではありません。

●モデル経営体の紹介

(株) 豊潤 (代表 大弓 潤)

【経営概要】 <大分県農協北部いちご部会部会長>
面積45a 単収5.5t 販売額 3,400万円
就農18年目 構成員 8名

○経営理念

消費者の信頼に応える安心・安全な農産物生産と、
相互に協力し成長を続け、地域農業の振興へ繋げる。

○メッセージ

私も28歳まで福岡県でサラリーマンをしていましたが、家族との時間を大切にしたいと考え、地元の大分県で研修し、就農しました。就農当初は大変な事が多かったのですが、部会員と協力しながら、効率よく生産技術を身につけれることができる産地です。



●私たちがサポートします ～技術習得から就農までのサポート体制～

JAおおいた 北部いちご部会

会員数：35戸 面積：10.3ha
販売金額：343百万円(R5) 研修機関：(株)豊潤

【活動】

「大分県農協北部いちご部会」として、3地域（豊後高田、宇佐、中津）合同の広域共販を行っています。部会活動も活発で地域のサポート体制が充実しています。

また、若手生産者による研究会（いちご研究部）活動も盛んで、栽培面や流通対策、安心安全への取り組みなどに意欲的に取り組んでいます。

【主な部会行事】

栽培講習会、目揃え会、視察研修、園回り



<いちご研究部の様子>

●豊後高田市の支援策

○豊後高田市アグリチャレンジスクール（新規就農コース）※随時募集
研修期間1～2年（研修生1～2組募集（1組2名以内））

【研修期間中の支援】新規就農支援事業

- ・家賃助成事業：研修中の家賃半額助成（補助上限25千円/月）
- ・生活支援事業：研修1年目の生活支援助成（定額25千円/月）

【就農時の支援】

- ・新規就農者自立支援事業：独立自営就農する際に必要な資材等の自立購入費用の一部助成（定額20万円）
- ・その他、経営計画の作成支援、補助事業等

【移住支援】

- ・市内の宿泊施設で”お試し”居住をしながら、体験見極め研修や空き家・市営住宅の見学、移住準備等

【子育て支援】

- ・子育て世帯の引越し費用助成、出産祝い金、高校生までの医療費無料、市営の無料塾等

●産地が求める人材

- ①いちご栽培に積極的・自発的に取り組める方
- ②地域や部会との交流ができる方
- ③コーチや関係機関の助言を聞き入れることができる方

（その他要件）

- ・就農予定時の年齢が50歳未満であること
 - ・市内に在住して研修を受け、研修終了後、市内で就農、定住すること
 - ・研修期間中に最低限必要な生活費があること
 - ・経営開始時に必要な資金や労働力を有している、または調達できる見込みがあること
- ※他にも要件がありますので、詳細は個別にご相談ください。

●問い合わせ先

JAおおいた
北部営農経済センター(宇佐)
〒879-0471 宇佐市四日市1062-1
TEL:0978-32-2200
FAX:0978-32-3489

豊後高田市役所 農業振興課
〒879-0692 豊後高田市是永町39番地3
TEL:0978-25-6243
FAX:0978-24-0250

